

## 日本のコンビニでできる11のこと

動画リンク : <https://youtu.be/aPqRnde9L8Y>

今回は「日本のコンビニでできる11のこと」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字にふりがなはありません。学習にお役立てください。

日本に旅行で訪れる人や、日本に住んでいる外国人にとって、日本のコンビニで何ができるかを知っていると、もっと便利に日本で生活することができます。

日本のコンビニは、1日24時間、1年365日いつでもお店が開いています。

食べ物のお弁当やパン、お菓子、缶詰めなどだけではなく、文房具や雑誌、服なども買うことができます。

しかし、日本のコンビニでできることは、それだけではありません。今日は、「日本のコンビニでできる11のこと」を紹介します。

### 1. ATMでお金を引き出せる

日本のコンビニには、ほとんどのお店でATMが置いてあります。ATMというのは、お金を引き出したり、預けたりできる機械のことです。

このATMは、日本の銀行のカードだけでなく、海外のカードも使えることが多いです。

たとえば、VISAやMastercardのロゴがついているカードを使えば、日本円を簡単に引き出すことができます。

海外から来た旅行者や、日本に住んでいる外国人でも、急に現金が必要になったとき、近くのコンビニでお金を引き出せるのでとても便利です。

たとえば、セブンイレブンにあるセブン銀行のATMは、日本語の他に英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、

タイ語、マレーシア語、インドネシア語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語など12の言語に対応しています。

また、ATMは24時間使えることが多いので、時間を気にせずにいつでも利用できます。

夜遅くにお金が必要になったときや、銀行が閉まっている時間でも、コンビニのATMがあれば安心です。

ATMは、日本語だけではなく、英語や他の言語にも対応していることが多いので、操作に困ることも少ないと思います。

日本では、キャッシュレス決済が増えていますが、まだ現金が必要な場面もたくさんあります。  
だからこそ、コンビニでいつでもお金を引き出せるのはとても助かります。

## 2. Wi-Fiが使える

日本を訪れる外国人が日本滞在中に困ることの1つに「Wi-Fiが使えない」という問題があります。

実際、「日本滞在中に困ったこと、不便に思うこと」というアンケート調査によると、1位は「Wi-Fi環境が良くない」という回答でした。

日本ではフリーWi-Fiが使える場所が少なく、特に観光中にインターネットを利用することが難しいと感じる人が多いようです。

しかし、コンビニならWi-Fiを無料で使えるところが多いです。

日本中にあるコンビニでは、たいていWi-Fiが設置されていて、旅行者や日本に住む外国人にとってとても便利です。

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートなど大手のコンビニチェーンでは、Wi-Fiに無料で接続できます。

セブンイレブンでは「セブンスポット」、ファミリーマートでは「ファミマWi-Fi」、ローソンでは「ローソンプリーWi-Fi」と呼ばれています。

これらの名称を覚えておくと便利です。

登録は簡単で、メールアドレスやSNSのアカウントを使ってすぐに接続できるところが多いです。

また、日本ではコンビニがとても多いので、Wi-Fiが必要になったとき、すぐに近くのコンビニに行けばインターネットに接続することができます。

特に道に迷ったときや、急いで情報を調べたいときに役立ちます。

Wi-Fiが使えるコンビニは、旅行者にとっての「インターネットの避難所」として役立ちます。

日本での滞在をもっと快適に過ごすためにも、コンビニでWi-Fiが使えることを知っておくと便利です。

## 3. いろいろなチケットを買ったり予約できる(コンサート、バイクの保険、国際送金など)

日本のコンビニでは、いろいろなチケットやサービスを簡単に購入・予約することができます。

たとえば、コンサートや映画のチケット、テーマパークの入場券などをコンビニで買うことができます。

日本の人気アーティストのライブや、観光地での特別イベントのチケットも、コンビニの端末で手軽に購入できます。

オンラインでの手続きが不安な人にもおすすめです。

他にも、バイクの保険や旅行保険、さらには国際送金のサービスも利用できます。

バイクの保険は、日本でバイクをレンタルする場合に必須となることが多いので、旅行者にとっても便利です。

また、急にお金を海外に送らなければならないときも、コンビニでは国際送金の手続きを行うこともできます。

セブンイレブンとローソンは、コンビニの中にあるATMで海外送金をすることができます。

ファミリーマートはマルチコピー機で海外送金することができます。

日本のコンビニには、観光客が利用できるサービスがたくさんあります。

特に、旅行中にチケットが必要になったときや、急に保険や送金が必要な場合に、近くのコンビニで手続きができるのはとても便利です。

これらの端末は日本語だけでなく、英語やその他の言語にも対応している場合が多いので、外国人旅行者でも安心して利用できます。

#### 4. 宅急便が送れる

日本のコンビニでは、宅急便を使って荷物を送ることができます。

宅急便とは、荷物を家や会社などに届けるためのサービスのことです。

たとえば、旅行中に買ったお土産が多すぎてスーツケースに入らない場合、送り先が日本国内であれば、コンビニから自宅に荷物を送ることができます。

使い方はとても簡単です。まず、コンビニにある専用の伝票に送りたい住所や名前を記入します。

もし、伝票がなければ、店員さんに「荷物を送りたいので伝票をください」と言ってください。

その後、記入した伝票を荷物に貼り、店員さんに「この荷物をお願いします」と言しましょう。

荷物を店員さんに渡せば、あとは宅配業者が荷物を届けてくれます。

コンビニでは、ヤマト運輸や佐川急便といった宅配業者のサービスが利用でき、信頼性も高いです。

さらに、急いで荷物を送りたい場合でも、コンビニなら24時間いつでも宅急便を利用できます。

夜遅くに荷物を送りたいときや、日曜日や祝日でもコンビニが開いていれば問題なく発送できるのが大きな利点です。

日本の宅配サービスは、正確な配達時間や安全性でとても評判が良いです。

また、コンビニでは日本から海外に荷物を送ることはできません。

日本から海外に荷物を送りたいときはコンビニではなく「郵便局」で送ることができます。

## 5. Amazonの荷物の受け取り

日本のコンビニでは、Amazonで買った商品を受け取ることができます。

Amazonとは、世界中で人気のオンラインショッピングサイトのことです。

多くの方が、日本旅行中や日本に住んでいるときにAmazonを使うことがあります。

しかし、旅行中や仕事で忙しいときは、自宅で荷物を受け取るのが難しい場合があります。

そんなとき、コンビニで荷物を受け取れるサービスはとても便利です。

Amazonで商品を注文する際に、「コンビニ受け取り」を選ぶことができます。指定したコンビニで荷物を受け取ることができます。

セブンイレブンやファミリーマート、ローソンなど、自宅や宿泊しているホテルの近くのコンビニを選んでください。

24時間いつでも荷物を受け取ることができるので、忙しい人や不在が多い人にとってとても便利なサービスです。

使い方も簡単です。商品がコンビニに到着すると、Amazonから通知が来ます。

コンビニに行き、店内の端末や店員さんに表示された番号を伝えれば、荷物を受け取ることができます。

セブンイレブンの「セブンロッカー」やローソンの「PUDO(プドー)」など、ロッカー形式で自分で荷物を受け取れる場所もあります。

このサービスを知っておけば、忙しい旅行中でも自分のペースで荷物を受け取ることができます。

時間を気にせずに荷物を受け取れるので、滞在中の利便性がさらに向上します。

## 6. 衣類・生活用品を購入できる

日本のコンビニでは、食べ物や飲み物だけでなく、衣類や生活用品も買うことができます。

旅行中に急に必要なものが出てきたときや、うっかり忘れ物をしてしまった場合、コンビニで手軽に購入できるので、とても便利です。

たとえば、靴下や下着、Tシャツなどの簡単な衣類はコンビニで買うことができます。

特に、旅行中や長距離の移動の途中で「着替えが必要だな」と思ったときに役立ちます。

また、コンビニには、歯ブラシ、シャンプー、タオル、カミソリなどの生活必需品も揃っています。

これらはホテルに滞在している旅行者や、仕事で長時間外出している人にとって、とても助かるアイテムです。

さらに、文房具や充電器、イヤホンなどの電子機器に関する商品も購入できるので、出張や観光の途中でこれらが必要になったときも安心です。

旅行中にスマートフォンの充電がなくなってしまったとき、急いでコンビニで充電器を買えば、すぐに対処できます。

日本のコンビニは、生活に必要な商品をすぐに手に入れられる場所として、外国人旅行者にとっても便利な存在です。

しかも、24時間営業しているので、時間を気にせずいつでも買い物ができる点も大きな魅力です。

何か忘れ物をしたり、急に必要なものが出てきたときは、ぜひコンビニに立ち寄ってみてください。

## 7. 出来立てホヤホヤの料理が食べられる(ホットスナックやおでん)

日本のコンビニでは、出来立てのホットスナックやおでんといった温かい料理をすぐに食べることができます。

ホットスナックとは、フライドチキンやコロッケ、アメリカンドッグ(日本ではホットドッグの一種)など、揚げたてや焼きたてのスナックのことです。

これらはレジの近くに置かれていて、注文すればすぐにその場で受け取ることができます。

旅行中や移動中、小腹がすいたときに手軽に温かい食べ物を楽しめるのはとても魅力的です。

また、秋から冬にかけて登場する「おでん」という日本の伝統的な料理も、コンビニの人気商品です。

おでんとは、ダシで煮込んだ大根や卵、こんにゃく、魚のすり身を使った練り物など、さまざまな具材が入った温かいスープ料理です。

コンビニのおでんは、手軽に本格的な味を楽しむことができ、日本の冬の風物詩とも言えます。

秋から冬にかけて日本を訪れる人はぜひコンビニのおでんを食べてみてください。

これらの料理はどれもリーズナブルで、手軽に買えるのが特徴です。

また、24時間営業しているので、夜遅くに小腹が空いたときや、朝早くに温かいものが欲しいときでも、コンビニならいつでも利用できます。

旅行者にとって、コンビニのホットスナックやおでんは、手軽で美味しい日本の味を体験できる絶好のチャンスです。

日本を訪れる際には、ぜひコンビニでこれらの温かい料理を試してみてください。

忙しいスケジュールの中でも、気軽に温かい料理を楽しむことができます。

## 8. 挽きたてのドリップコーヒーが飲める

日本のコンビニでは、挽きたてのドリップコーヒーを手軽に飲むことができます。

ドリップコーヒーとは、豆を挽いてお湯を注ぎ、コーヒーを抽出する方法で、風味が豊かで新鮮な味わいが特徴です。

多くのコンビニには専用のコーヒーマシンが設置されており、注文するとその場でコーヒー豆を挽き、ドリップしたてのコーヒーを楽しむことができます。

セブンイレブンやローソン、ファミリーマートなどの大手コンビニチェーンでは、これらのコーヒーを低価格で提供しています。

たとえば、セブンイレブンの「セブンカフェ」や、ローソンの「マチカフェ」、ファミリーマートの「ファミマカフェ」では、

いつでも新鮮なコーヒーが味わえます。価格は100円～150円程度と手頃で、忙しい朝や休憩中にピッタリです。

特にコンビニのドリップコーヒーは注文後に豆を挽くので、コーヒーの香りが楽しめるのが特徴です。

しかも、24時間営業しているので、早朝や夜遅くでも気軽にコーヒーを飲むことができます。

旅行中や仕事の合間に、少し休憩したいときに立ち寄ってみると良いでしょう。

実は、コンビニでドリップコーヒーが提供される背景には、企業の「ついで買い」を狙った戦略があります。

お客さんがコーヒーを買うついでに、パンやお菓子などの他の商品と一緒に買ってもらうことで、売り上げを増やす狙いがあるのです。

このような工夫が、日本のコンビニの魅力をさらに高めています。

コンビニのドリップコーヒーは、外国人旅行者にも人気があり、日本を訪れた際にぜひ試してみる価値があります。

新鮮なコーヒーをリーズナブルな価格で、どこでも楽しめるのは、日本のコンビニの大きな魅力の一つです。

## 9. コピー機が使える。ネットプリントやファックスも

日本のコンビニには、高機能なコピー機が設置されていて、簡単にコピーを取ることができます。

旅行者や日本に住んでいる外国人にとっても、急に書類をコピーしたいときに近くのコンビニで手軽に利用できるのはとても便利です。

コピー機はカラーコピーもでき、写真や書類をきれいに印刷することができます。

コンビニによってプリント代は少し違いますが、白黒コピーは10円でカラーコピーは50円から80円くらいです。

さらに、日本のコンビニのコピー機では、ネットプリントというサービスも利用可能です。

ネットプリントとは、インターネット上にアップロードしたデータをコンビニのコピー機で印刷できるサービスのことです。

たとえば、旅行中にスマートフォンやパソコンで作成した資料や、メールで送られてきたファイルを、コンビニのコピー機で簡単に印刷できます。

これは、旅行中に急にプリントが必要になったときや、自宅にプリンターがないときにとても役立ちます。

また、日本ではまだファックスが使われている場面が多く、コンビニではファックスも送ることができます。

特にビジネスや行政手続きでファックスを利用することが多いので、旅行者や外国人にとっても、ファックス機能があるコンビニは便利です。

日本国内だけでなく、海外にファックスを送ることも可能です。

これらのサービスは、24時間いつでも利用でき、忙しいスケジュールの中でも安心して利用できます。

ネットプリントやファックスなど、旅行者にとって便利なサービスが揃っている日本のコンビニは、まさに「便利屋」のような存在です。

## 10. イートインスペース

日本の多くのコンビニには、イートインスペースがあります。

イートインスペースとは、コンビニで買った食べ物や飲み物をその場で座って食べられる場所のことです。

テーブルと椅子があり、急いでいるときや、外で食べたくないときに便利です。

特に、旅行中に外食が難しいときや、ちょっとした休憩をしたいとき、イートインスペースは助かります。

コンビニでお弁当やサンドイッチ、ホットスナックを買って、その場でゆっくり食べることができます。

また、挽きたてのドリップコーヒーを楽しみながら、短い休憩を取るのにもぴったりです。

天候が悪い日や、寒い冬の時期には、外で食べる代わりに、暖かいイートインスペースで食事ができるので快適です。

ただし、イートインスペースを利用するときには、いくつかの注意点があります。

まず、イートインスペースは主にコンビニで買った商品を食べるための場所なので、外から持ち込んだ飲食物を食べるのは控えましょう。

また、食事を終えた後は、席を長時間占領せず、次に利用する人のために早めに席を譲るよう心がけることが大切です。

さらに、利用後は自分が使ったテーブルを軽く拭いたり、ゴミを適切に分別して捨てるなど、周囲への配慮も求められます。

日本のコンビニにはゴミ箱が設置されていますので、購入した商品のゴミは必ずそこに捨てましょう。

これらのルールを守れば、快適にイートインスペースを利用できるだけでなく、他の利用者にも良い印象を与えることができます。

コンビニのイートインスペースは、無料で利用できる場所として便利ですが、気持ちよく使うためにも、こうしたマナーを守って利用しましょう。

地域によってはWi-Fiも使えるので、食事をしながら情報を調べたり、休憩中にスマートフォンを利用することも可能です。



## 11. トイレを(無料で)使える

日本のコンビニでは、多くの場合、無料でトイレを使うことができます。

旅行中や外出先で急にトイレを使いたくなったり、コンビニはとても助かる存在です。

特に、日本の観光地や都市部では、トイレを見つけるのが難しいこともあるため、コンビニのトイレを知っておくと便利です。

日本のコンビニのトイレは、清潔で使いやすいのが特徴です。掃除が行き届いている店舗が多く、安心して使えます。

多くのコンビニでは、トイレは誰でも利用できるように開放されており、トイレットペーパーもきちんと用意されています。

さらに、最近では温水洗浄便座(ウォシュレット)が設置されているトイレも多く、日本のトイレの高い技術を体験することができます。

ただし、トイレを利用するときには、店員さんに「トイレを使ってもいいですか?」や「トイレをお借りします」などとひと声かけるのが良いマナーです。

日本では、トイレが開放されている場合でも、店員に挨拶や許可を求めることで、感謝や礼儀を示す文化があります。

声をかけることで、店員さんにも良い印象を与えることができます。

また、トイレを利用した後に、何か飲み物や食べ物を購入すると、感謝の気持ちを示す良い方法になります。

もちろん、購入は義務ではありませんが、マナーとして覚えておくと良いでしょう。

トイレを利用する際に場所がわからない場合は、店員さんに聞けば丁寧に教えてくれることが多いです。

コンビニのトイレは24時間利用できることが多く、深夜や早朝でも安心して利用できます。

日本のコンビニは、清潔で無料のトイレが利用できることから、旅行者や観光客にとっても大変便利な場所です。

外出先でトイレを探すときは、近くのコンビニに立ち寄ってみましょう。

「日本のコンビニでできる11のこと」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



**Japanese-listening-SUSHI**

